

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

# 声のかけ橋

第56号

平成29年11月1日発行  
豊後大野市議会

事務事業評価を実施 6  
平成28年度決算を認定 8  
9名の議員が市政を問う 11

キラリ★ひと言 24



秋季大運動会（大野小学校・おおのさくら幼稚園）



## 平成29年第3回定例会

(会期 9月1日～28日)

9月1日から第3回定例会が開かれました。

今定例会では、認定11件、16議案などが上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。また、台風18号の被災に伴い、最終日に一般会計補正予算(3号)が追加提案され、可決しました。

6日から3日間にわたり、行われた一般質問には、9人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。

(11～20ページ参照)

また、各常任委員会では付託議案の審査のほか、事務事業評価を実施しました。

今定例会には、延べ32人の方々が傍聴に訪れました。

## 平成29年度 一般会計補正予算(第2号)

# 8億5543万5千円

# 追加

### 主な事業

#### 庁舎等整備事業 1億7662万円

支所・公民館の新築・改修・耐震化事業を行うもの。(支所・公民館建設事業1億6400万円)

また犬飼支所を現庁舎に再建するため、仮庁舎への移転・改修を行うもの。完成するまでは現犬飼公民館に仮支所を設置する。

(犬飼支所仮移転事業1262万円)



#### 認定子ども園整備事業補助金

7538万7千円



認定子ども園の整備に伴うもの。

〔対象〕 ももえだ子ども園・おおのルンビニ子ども園

#### 白鹿浄化センター設備維持補修工事請負費

4384万8千円



汚泥乾燥焼却施設等の老朽化による更新工事に伴うもの。

追加提案

# 台風18号の被災に伴い

## 3億802万7千円



《一般会計予算総額》  
249億1541万8千円

平成29年度 一般会計補正予算(第3号)

### 主な事業

#### 農業用施設災害復旧事業

9892万4千円



台風18号で被災した農地、農業用施設災害復旧事業費の増額補正。

#### 道路橋梁災害崩土除去作業委託料

4500万円



台風18号により発生した崩土除去に伴うもの。

#### 観光施設災害復旧事業

1354万1千円



台風18号により被災した観光施設を復旧するもの。

#### 林業用施設災害復旧事業

1520万円



台風18号により被災した林道施設災害復旧事業費の増額補正。

### 豊後大野市病院事業に係る料金条例の一部改正

## 市民病院でセカンド オピニオン外来を開始

### 他

の病院や診療所で診療を受けている患者、家族等を対象にその診断や診療方針の相談を受けるセカンドオピニオン外来を開始するものです。



# 総務 常任委員会

## 委員会審査報告

主な議案の審査経過を報告します

## 厚生文教 常任委員会

●豊後大野市長等の給与の特例に関する条例の制定

市の財政状況等に鑑み、市長、副市長及び教育長の給与月額を、平成29年10月1日から平成33年4月23日までの間に支給する給料に限り、それぞれの給料月額から市長は10%、副市長は5%、教育長は3%減額するため、条例制定の必要があるものです。

【質】前市長と比較するとカット率が低下していることと今回のカット率の根拠は。

【答】行政改革集中プランによる人件費削減の推移や、他市との比較、そして現在は職員に対するカットを行っている等、そうしたいろいろな見地から市長として判断されたらと我々としては認識をします。

●財産の取得

現在豊後大野市消防団では、購入から18年経過を目安に車両の更新を計画しており、今回更新対象の車両は、いずれも当該年数を経過し、老朽化による性能低下がみられ、消防活動や維持管理に支障をきたしていることから、緊急時の確実な出動態勢の確立と、地域の消防防災活動の推進を図るため、小型動力ポンプ積載車4台を更新整備するものです。

【質】今後の更新計画は。

【答】現在消防団の組織再編を計画しているところで、これが決定してから今後の車両計画、購入計画を立てていきたい。

### 【付託議案の審査結果】

議案2件と請願1件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決、採択すべきとしました。

●豊後大野市病院事業に係る料金条例の一部改正

患者が、病気の診断や治療に対して最良の方法を選択する上で参考意見を得るために、主治医以外のほかの医療機関の医師の意見を求めるセカンドオピニオン外来を導入するに当たり、条例改正をするものです。

【質】これまでに事例はあったのか。

【答】他の病院に紹介した事例はありました。



●平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4364万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ61億4633万1千円とするものです。歳入は、国民健康保険基金繰入金の減額及び前年度繰越金の追加が主なものです。歳出は、諸支出金、償還金及び還付加算金の追加が主なものです。

【質】歳入の基金繰入金は今回の減額補正でゼロ円となるが、当初予算で計上する理由は。

【答】薬価がマイナス改定された影響で医療給付費がかなり残っており、平成28年度の繰越金が大きくなったため、基金からの繰り入れは行わないことになりましたが、当初予算編成の段階では見込めませんでした。

### 【付託議案の審査結果】

議案4件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。



# 産業建設

常任委員会

- 市道路線の廃止
- 市道路線の認定

市道路線の廃止と認定は内容に  
関連があるので、一括議題として  
審査しました。

市道路線の廃止は、三重町の市  
道柱木線の1路線について、県道  
の改良工事での線形変更に伴い、  
起点の地番を変更して再度市道と  
して認定するため、一旦現市道を  
廃止します。

市道路線の認定は2路線で、ま  
ず市道柱木線は、県道の改良工事  
での線形変更に伴い、移管を受け  
た県道の旧道部分と、現市道部分  
を併せて、新たに市道認定するも  
のです。

朝地町の小川野中央線は、林道  
小川野線の用途変更の承認により、  
新たに市道認定するものです。

**【付託議案の審査結果】**  
議案7件を付託され、慎重審査  
の結果、それぞれ可決すべきとし  
ました。

- 平成29年度簡易水道特別会計補  
正予算(第2号)

歳出は、人事異動に伴う人件費  
として、一般管理費383万3千  
円を増額補正、さらに簡易水道施  
設の今後の維持、修繕、漏水対応  
分として修繕料807万1千円の  
増額補正と、県道緒方高千穂線改  
良工事に伴う水道管移設工事とし  
て工事請負費850万円を増額補  
正するものです。

**質 移転補償費とは。**

**答** 県道緒方高千穂線の緒方町小  
原地区について、県の改良工事で  
従来の水源地が新しいルートにか  
かることに伴い、関係者が市の水  
道に加入するため、市水道の配水  
管を延長する工事を市が一括して  
行い、経費として県から移転補償  
費をいただくものです。



あなたの意見や要望

## 請願・陳情

- 請願(地方財政の充実・強化を求める意見書の  
提出を求める請願)

〔請願者〕大分県地方自治研究センター  
〔紹介議員〕吉藤 里美

【請願趣旨(一部)】

子育て支援、介護等の社会保障、被災地の復興等、地方  
自治体が担う役割は拡大しており、地方版総合戦略の策定・  
実行など、新たな政策課題に直面している。国の財政状況  
の厳しさを背景に、公的サービスの産業化推進による歳出  
削減を中心とした地方財政健全化の圧力がさらに増すこと  
が懸念される。

本来、公的サービスを提供するためには、財政面でサポ  
ートするのが財政の役割であるが、財政再建目標のために、  
サービスが削減されれば国民生活と経済に疲弊をもたらす  
ことは明らかだ。

このため、来年度の政府予算、地方財政の確立を目指す  
ことが必要である。

全会一致で



地方財政の充実・強化を求める意見書を可決  
し、国の関係機関へ意見書を送付しました。

# 事務事業評価を実施

## 事務事業評価の流れ

**各** 常任委員会  
で昨年度の  
事業の中か  
ら1事業ずつ選定し、  
3日間にわたり、事  
務事業評価を実施し  
ました。「拡充、継  
続、改善、縮小、休  
止・廃止」の5段階  
で評価を行い、委員  
会としての評価を決  
定しました。

評価結果を執行部  
に伝えることで、今  
後の業務改善や予算  
確保などにつながっ  
ていくことが期待さ  
れます。



## 総務常任委員会

### 【調査事業】

地域コミュニティ支援事業の  
小規模集落対策事業及び地域  
活動支援事業

### 【委員会評価】

#### 継続

### 【評価報告(抜粋)】

本事業は、特に過疎化・高齢  
化が著しく進む地域においては、  
地域市民同士による相互扶助の  
低下などの集落機能の低下によ  
り、地域コミュニティの維持が  
困難となってきたこと、さらに  
その地域課題の解決は一行政区  
で取り組むことが難しいことか  
ら、将来的に地域活動の中心を  
担っていく組織「地域振興協  
会」を旧小学校区単位で設立す  
ることを推進し、その活動を支  
援しており、現在11の旧小学校  
区が対象になっており、そのうち  
7つで地域振興協議会が設立  
されている。

現在豊後大野市は、平成29年  
3月まで市内206自治会のうち、  
すでに101自治会が高齢  
化率50%以上になっており、少  
子高齢化が進む中、その数は今  
後も増加することが予想される  
ため、本事業の必要性・緊急性  
は非常に高いと言える。緊急性  
は非常に高いと対象となつて  
いるにもかかわらず、いまだ事

業に取り組んでいない地域も見  
受けられる。当然、自治会の意  
思・自主性は尊重すべきであり、  
自治会の理解を得られるよう、  
慎重に協議を重ねるとともに、  
近い将来、高齢化率の上昇によ  
り対象となる可能性が高い地域  
に対しても本事業の有用性をも  
っとPRしていくべきである。

また、地域福祉事業、体験交  
流事業、人づくり事業、介護予  
防事業、定住促進事業、生涯ス  
ポーツ振興事業、防災防犯事業、  
拠点整備事業の8つの事業区分  
に該当しない事業は対象外にな  
る等、利用しづらい一面も窺え  
るため、交付条件を緩和するな  
どの検討が必要と考える。特に、  
拠点施設は、拠点施設があるの  
とならないので、その地域の活動が  
大きく変わってくるため、その  
整備は、もつと手厚い支援が必  
要と考えるが、厳しい財政状況  
の中にあるため、国や県からの  
援助を今後も最大限活用し調整  
することも忘れてはならない。

最後に、地域振興協議会の横  
の連携を深め、さらにレベルア  
ップをした地域振興協議会とな  
ってもらうため、そして未設立  
の自治会にも見に来てもらい、  
新規の協議会を推進していくた  
めには、連絡協議会の設立が重  
要であると考えるので、その開  
催を後押しするなどにより、今  
後も継続的な取り組みを進めて  
行くことを期待するものである。



## 厚生文芸教常任委員会

【調査事業】  
外国語指導助手事業

【委員会評価】

拡充

【評価報告（抜粋）】

外国語指導助手事業は、英語教育の充実に欠かせない英語によるコミュニケーション能力の向上のため、ネイティブな英語に触れる機会が必要であるとのことから、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）によりALT（外国語指導助手）の派遣を依頼し、市内の小中学校において英語の授業の支援をするものである。

現在、本市には4名のALTが配置されており、英語に対する興味・関心を持ち、意欲的・自主的に学びに向かう児童・生徒の育成を図っている。国が考える教育の中でも、様々な面で進むグローバル化に対応できる児童・生徒の育成の必要性や小・中・高の連携についてうたわれており、コミュニケーションを発揮する一つの言語として英語をどう使えるかが重視され、自分の生活の場面に活用される英語学習に変えていこうという流れになっている。このようなことから、厚生文

教常任委員会としては、グローバル社会において英語によるコミュニケーションは絶対に必要なであり、児童・生徒にとつて将来の選択肢が広がること、また、学習指導要領の改訂や本市が来年度から予定している小学校での英語教育の実施、さらには、既に8割以上の児童・生徒がALTの支援による英語の授業を好意的に捉えている実態を踏まえ、特色ある教育を進める上でも、事業としては当然継続しつつ、より一層の充実と拡充を望むものである。

今後の課題等は、学習指導要領の改訂や小学校での新たな取り組みが始まることにより本事業の持つ役割が広がると予想され、これまでに以上の指導が求められることから、担当教員の負担増は確実であり、ALTの質の向上やチェック機能、また支援をするためにも、教育委員会が組織としてALTに関わる体制が必要である。加えて、懸念される人材の確保も勘考されたい。担当課もALTの活用は検討の余地があると認識しており、財政部門との調整は厳しいと思われるが、他市の状況を確認し、JETプログラムの契約の中で最大限に力を果たせるよう努力していただきたい。

## 産業建設常任委員会

【調査事業】  
担い手育成・確保事業

【委員会評価】

拡充

【評価報告（抜粋）】

担い手育成・確保事業は、農業の多様な担い手を確保し、農地、産地の維持や地域の活性化を図る一翼を担っています。本事業は国や県が実施主体で実施する事業のほか、本市の現状を踏まえた単独事業が実施されており、多様な担い手の確保と併せて、担い手の経営基盤の安定を図るため、年度毎に同程度の予算を維持している状況です。担い手の経営基盤の安定を図るための予算は今後も維持していくとともに、新規就農者の確保に係る予算は、既存事業の見直しや新たな事業展開を検討することで増えることが予想されています。

これらを踏まえ、産業建設常任委員会では本事業を拡充と評価しました。本市の基幹産業である農業の担い手が高齢化や後継者不足で減少している中、本事業を実施し担い手を確保することは、農地を守り、食糧生産を維持するために必要であり、担い手が希

望を持つて農業に取り組めるよう事業を拡充していくことが必要と判断しました。本事業を活用することは農業の担い手への活力につながると思います。現在、様々な事業に取り組んでいることは評価できますが、予算配分や採択される条件が厳しい事業もあり、申請した年度に受けられない実態もあります。より多くの意欲ある担い手が意欲ある時期に事業が実施できるよう、支援の拡充を検討するとともに、今後も国・県の補助を有効に活用し、本市の農業の担い手のニーズに応えた事業を実施することを期待します。また、本事業を活用し、自立に向けての経営指導など、事業後のいっそうの支援体制も必要であると考えます。



# 平成28年度 決算 認定

一般会計歳出決算は前年度に比べ12億9201万5千円減少

**決** 算特別委員会（衛藤竜哉委員長）が、9月21日と22日の2日間、にわたり開催され、一般会計、特別会計、上水道・病院事業特別会計の決算を審査しました。

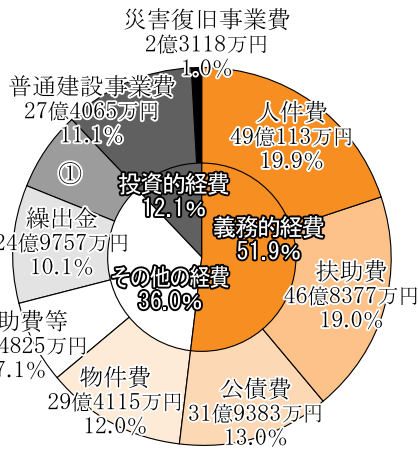
いずれも慎重審査の結果、認定すべきものと決定し、9月28日の本会議で採決の結果、認定されました。



## 《一般会計決算の内訳》

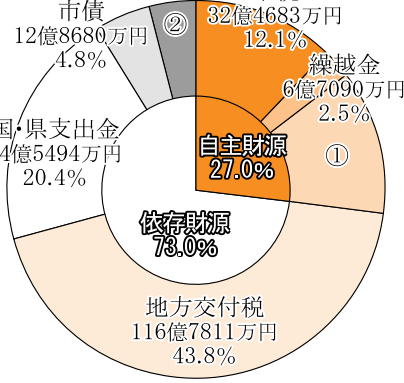
### 歳出

- ①その他の経費 16億8062万円 (6.8%)
- 【内訳】
  - ◆維持補修費 1億3037万円 (0.5%)
  - ◆積立金 15億1588万円 (6.2%)
  - ◆投資・出資金・貸付金 3437万円 (0.1%)



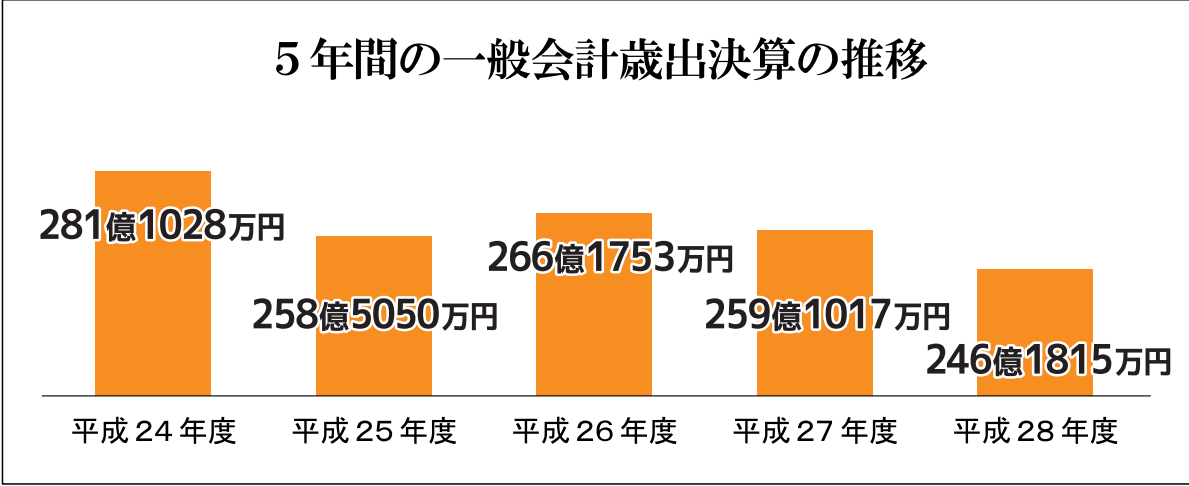
### 歳入

- ①その他自主財源 33億2200万円 (12.4%)
- 【内訳】
  - ◆分担金及び負担金 3億8481万円 (1.4%)
  - ◆使用料及び手数料 4億7744万円 (1.8%)
  - ◆財産収入 7715万円 (0.3%)
  - ◆寄附金 4828万円 (0.2%)
  - ◆繰入金 20億9733万円 (7.8%)
  - ◆諸収入 2億3698万円 (0.9%)
- ②その他依存財源 10億7686万円 (4.0%)
- 【内訳】
  - ◆地方譲与税 3億4579万円 (1.3%)
  - ◆地方交付金 7億3107万円 (2.7%)



合計 246億1815万円

合計 267億3643万円



※ 表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない箇所があります。



《各会計の決算状況》

会計名		歳入	歳入前年度比	歳出	歳出前年度比
一般会計		267億3643万3千円	-3億9341万円	246億1814万9千円	-12億9201万5千円
特別会計	国民健康保険	60億1851万1千円	-5億5678万4千円	57億1926万2千円	-7億320万円
	後期高齢者医療	5億5208万円	+590万6千円	5億4926万2千円	+579万3千円
	介護保険	63億6498万9千円	-1億536万3千円	62億4284万2千円	-1億222万3千円
	農業集落排水	2億2318万4千円	-1474万4千円	2億1300万3千円	-2134万3千円
	公共下水道	8143万4千円	-358万3千円	7899万9千円	-35万4千円
	浄化槽施設	4768万5千円	-26万9千円	4554万5千円	-84万8千円
	簡易水道	5億143万5千円	+2億1216万円	4億8730万6千円	+2億1811万2千円
	太陽光発電事業	1億4557万5千円	+1493万2千円	1億1385万円	+1160万円
	計	139億3489万3千円	-4億4774万4千円	134億5006万9千円	-5億9246万3千円
合計		406億7132万6千円	-8億4115万3千円	380億6821万8千円	-18億8447万9千円

会計名		歳入	歳入前年度比	歳出	歳出前年度比
企業会計	上水道	収益的収支 2億7531万4千円	+485万4千円	2億5112万2千円	-179万2千円
		資本的収支 451万9千円	-94万6千円	6998万5千円	-2441万3千円
	病院事業	収益的収支 36億381万8千円	+8667万5千円	37億7471万8千円	+6609万4千円
		資本的収支 3362万4千円	-3億1569万1千円	2億4960万7千円	-2億3366万1千円

地方債(借金)

一般会計・特別会計

会計名	27年度末現在高	28年度末現在高	
一般会計	263億8025万2千円	246億9625万8千円	
特別会計	農業集落排水	10億6667万1千円	9億9408万9千円
	公共下水道	3億7040万1千円	3億2419万5千円
	浄化槽施設	5354万1千円	4756万2千円
	簡易水道	11億5797万4千円	12億3623万円
	上水道	26億3904万3千円	25億9751万9千円
	豊後大野市病院	30億422万4千円	28億6009万1千円
	合計	346億7210万6千円	327億5594万4千円

基金(貯金)

一般会計・特別会計

基金名	27年度末現在高	28年度末現在高
一般会計	財政調整基金 67億6861万9千円	59億7580万5千円
	減債基金 17億9822万円	18億250万2千円
	その他特定目的基金 107億2289万9千円	115億8049万5千円
特別会計	その他定額運用基金 6億8083万円	6億8083万円
	国民健康保険基金 4億5482万円	4億5554万2千円
	高額療養費貸付基金 500万円	500万円
	出産資金貸付基金 300万円	300万円
	介護給付費準備基金 5億2126万4千円	5億4010万6千円
	農業集落排水事業基金 734万5千円	839万6千円
	公共下水道事業基金 207万8千円	207万8千円
	浄化槽整備推進事業基金 275万6千円	361万円
	簡易水道事業基金 9220万1千円	9222万円
合計	210億5903万2千円	211億4958万4千円

監査委員の意見

財政健全化の  
取り組みを



益永孝則  
代表監査委員

本市の平成28年度一般会計及び8特別会計の決算は、いずれも黒字決算であった。財政状況を客観的に表示す健全化判断比率の各比率のすべてにおいて、国の示す早期健全化基準以下であり、良好といえる。經常収支比率が85・7%と前年度より2・0ポイント上昇しているものの、総体的には健全化の方向にあると認められた。基金は29基金で、前年度より905万5千円増加し、211億4958万4千円となっている。一方、地方債は、前年度より19億1616万2千円減少し、327億5944万4千円となっている。

自主財源比率は、市税の増額と収納率の向上などにより27・1%と、前年度に比べ6・3ポイント上昇しているが、依然として地方交付税を中心とした依存財源が高い割合を占めている。普通交付税が段階的に縮減される中で、税や保険料、使用料等の未収金徴収対策をいっそう講じたい。地方公営企業会計については、上水道事業は当年度純利益を計上しているが、その要因は職員数の減少によるものである。病院事業は1億7090万円の当年度純損失となっており、経営の健全化に向けたいっそうの努力が必要である。公営企業会計は独立採算が原則であるため、未収金徴収対策や施設の維持補修など、今後の経営に関する計画的な運営を要望する。今後、行政改革の取り組みと市民福祉の向上に努め、財政の健全性を確保しながら、各種施策に取り組みことを希望する。

## 各議員の議案に対する賛否の状況（平成29年 第3回定例会）

※ ○ = 賛成 × = 反対 退 = 退席 欠 = 欠席 除 = 除斥 佐藤辰己議員は議長職のため表決権はありません。

議案名	議決結果	議決月日	創生会							市民クラブ			緑政会					
			赤峰	小野	小野	宮成	生野	衛藤	沓掛	田嶋	後藤	衛藤	穴見	吉藤	嶺	内田	川野	首藤
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第1号）	適任	9月 1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第2号）	適任	9月 1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度豊後大野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度豊後大野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成28年度豊後大野市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市浄化槽施設特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市上水道特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市長等の給与の特例に関する条例の制定について	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市営住宅条例の一部改正について	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市病院事業に係る料金条例の一部改正について	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止について	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度豊後大野市上水道特別会計未処分利益剰余金の処分について	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市一般会計補正予算（第2号）	可決	9月28日	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市公共下水道特別会計補正予算（第1号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市浄化槽施設特別会計補正予算（第1号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市簡易水道特別会計補正予算（第2号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市一般会計補正予算（第3号）	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願書（地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願）	採択	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全国森林環境税の創設に関する意見書	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	9月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 人権擁護委員候補者の推薦

はら だ むつ え  
▶ **原 田 睦 枝 氏**  
〔三重町〕

こたべ ひろし  
▶ **小田部 博 氏**  
〔千歳町〕

人事案件



【任期】 自：平成30年1月1日  
至：平成32年12月31日



# 9名の議員が市政を問う



9月6日から3日間にわたり行われた一般質問には9名の議員が登壇し、農業施策やユネスコエコパーク、リバーパーク犬飼の管理運営など19項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しておりますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

なお、車いす用のスペースも設けていますので、車いすをご使用の方もお気軽にお越しください。

## 一般質問

### ● 衛藤正宏 (12ページ)

- ・豊かさを感じる農業施策の推進を
- ・コミュニティバスについて

### ● 内田俊和 (13ページ)

- ・豊後大野市の観光政策は、今のままでよいのか
- ・豊後大野市教育振興特別奨学金条例について

### ● 神志那文寛 (14ページ)

- ・非核平和事業の推進を
- ・高すぎる国保税の引き下げを

### ● 首藤正光 (15ページ)

- ・職員厚生室について
- ・三重総合高校の充実を

### ● 宮成昭義 (16ページ)

- ・再造林補助率95%
- ・教科化される英語教育は

### ● 嶺英治 (17ページ)

- ・ユネスコエコパークの取り組みについて
- ・指定管理施設の現状と今後の課題について
- ・市道の整備について

### ● 衛藤竜哉 (18ページ)

- ・「田舎のビールを」大きな夢を持って竹田市との連携を図れ
- ・本当に大丈夫なのか、豊後大野市の災害対応

### ● 田嶋栄一 (19ページ)

- ・リバーパーク犬飼の管理運営について
- ・消防・救急体制の充実について

### ● 川野優治 (20ページ)

- ・三重町東部地区の悪臭問題

※ 一般質問 = 議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っている。

# 豊かさを感じる農業施策の推進を

～効率的かつ安定的な農業経営の推進～



えとうまさひろ  
衛藤正宏

創生会

**質**

少子高齢化による農業の就業人口の減少に伴い、生産基盤の弱体化が危惧されている。今後の農業施策を伺う。

**答**  
市長

課題を解決するには、1年を通して出荷できる営農体制を整えることで農家の所得が向上し、所得が向上することで担い手が確保でき、



ピーマンハウス

その担い手が定住するといった一連の取り組みが必要と考えています。将来に向けた効率的

かつ安定的な農業経営の推進等に取り組み、実効性のある農業振興を推進していきます。

# コミュニティバスについて

～地域の実情に応じた交通体系の構築に取り組む～



**質**

市民の足となる本市の地域公共交通（コミュニティバス）は地域の希望に合った路線計画か。

**答**

まちづくり推進課長

従来の計画の策定に際しましては、アンケート調査やヒアリング調査等を行い、市民の利用動向やニーズを把握してきたところです。

今後、利用者数の減少や高齢者への配慮の必要性の増大など、地域の実情に応じた交通体系の構築に取り組んでいきます。





うち だ とし かず  
**内田俊和**

緑政会

## 豊後大野市の観光政策は、 今のままでよいのか

～地域資源を生かした体験や  
交流を通じた観光施策を展開～

**質**

前市長の設立した会社への投資はどう思うのか。

**答**  
商工観光課長

豊後大野市観光協会を解消し、これを発展的に引き継ぐ形で、一般社団法人ぶんど大野里の旅公社が設立されました。里の旅公社への投資は、ロッジきよかわ開設時の改修工事費や備品費などを投入するとともに、公社の運営経費に対する補助金も交付しています。

**質**

今後どのように観光施策事業を市民に展開するのか。

**答**  
商工観光課長

本市は、ジオパークやエコパークに代表さ



ロッジきよかわ

れる豊かな自然と、そこで生み出される農林産物、延々と引き継がれてきた文化、伝統芸能など、誇るべき地域資源に恵まれており、これらの地域資源を生かした体験や交流を通じた観光施策を展開していきたいと考えています。

**質**

この条例は10人の人のためだけの奨学金である。みんなで見えるよう学校に出すとか見直しはできないか。

## 豊後大野市教育振興 特別奨学金条例について

～支援策の在り方を検討～

**答**  
教育長

現在2年生7人、1年生10人が奨学金を供給しています。条例の目的は学業成績優秀な本市の中学生が三重総合高校に入学することで、高校のレベルアップと、優秀な人材が市外の高校へ流出することを抑制する観点から高校を側面的に支援するものです。市内の生徒の合格者や受験者は増加傾向ですが、増加の要因が本制度によるものであるか否かは検証中であり、今後はその検証結果を踏まえ、支援策の在り方を検討していきたいと考えています。

その他の質問  
・市道の改良の目安について

## 非核平和事業の推進を

～各種非核・平和事業に取り組む～



こうじなふみひろ  
神志那文寛

日本共産党

**質** 日本政府へ、核兵器禁止条約に参加するよう要請を。

**質**

非常に意義深いものであると考えています。

**答** 市長

**質** 核兵器禁止条約について、市長の見解は。

**質**

**答** 市長

本市も加盟する平和首長会議は、「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」を採択し、河野外務大臣に対し当該決議書を渡したところです。今後、関係団体と連携して対応してまいります。

**質**

非核平和都市宣言塔の再整備を。

**答** 総務課長

現在、清川、大野、千歳の3町には、看板等はありません。豊後大野市非核平和推進協議会においてご協議いただき、対応してまいります。

**質**

市役所内でも、恒久平和を願う黙とうを。

**答** 総務課長

ご指摘を受け、本庁舎内の全職員にアナウンスが行き渡るよう整備を進めていくところです。



## 高すぎる国保税の引き下げを

～負担増を招かないよう、基金等を活用し対応～

**質** 豊後大野市の国保税は協会けんぽと比較して、どれだけ高いか。

**答** 市民生活課長

給与収入400万円、収入1人、両親とも40歳以上、子ども2人の場合、協会けんぽの保険料は年24万円余りで年収の約6%、国保税は年57万円余りで年収の約14%となります。

**質**

国保の都道府県化で、保険料はどうなるか。

**答** 市民生活課長

あくまで参考の試算ですが、本市の標準保険税率は、所得割17・11%で0・31ポイントの増、均等割4万3028円で1628円の増、平等割2万8042円で3958円の減です。





しゅとうまさみつ  
首藤正光

緑政会

## 職員厚生室について

～今後設置に向け検討～

**質**

現在の職員厚生室は、機能を果たしていないと思うが、庁舎内に新設してはどうか。

**答**

総務課長

本市では職員の保健、健康管理として、健康診断やカウンセリング、ストレスチェック等を行っております。

さらに、労働安全衛生上の配慮も含め、職員の職場環境の整備として、市役所本庁舎に、職員休憩室を2階と3

階に1室ずつ、計2室を設置しています。

職員厚生室は現在、本庁敷地内の別棟内にあり、直ちに本庁舎内に整備することは困難ですが今後、設置に向けた検討を進めたいと考えています。

## 三重総合高校の充実を

～可能な限り協力や支援をしていきたい～

**質**

運動部のいっそうの充実で定員確保を。

**答**

教育総務課長

学校運営に係ることから、直接的な対応は困難ですが、三重総合高校や三重総合高校の明日を拓く会との連携を図りながら、定員の確保策を検討していきたいと考えています。

**質**

第2グラウンドの確保を。

**答**

教育総務課長

グラウンドは、野球部と陸上競技部が使用しており、大部分は野球部が使用し、陸上競

技部は使用境界部分にネットを張り、ボールの進入を防ぐ措置をして使用しています。三重総合高校は大分県が設置者であり、市が直接的に財産を確保・

提供することは困難ですが、本市唯一の高校である三重総合高校を維持・発展させるため、市として可能な限りの協力や支援をしていきたいと考えています。



三重総合高校グラウンド

## 再造林補助率95%

～林業の活性化を図る～



みや なり あき よし  
宮 成 昭 義

創生会

**質**

本年4月に市の森林整備計画が策定された。市の面積の74%が森林である中、どのような視点から計画書が策定されたのか。

**答**  
市長

主伐・再造林に関する伐採届ガイドラインを策定し、全伐する場合の許可について、施業方法に制限を設けるなど、環境に配慮し適確な更新を図ることと



伐採後の山林

**質**

伐採後の再造林について、森林面積の44%が人工林である中、防災・減災対策の取り組みは。

しました。また低コスト化に向けた針葉樹の大苗や広葉樹の植栽の実現に向けた検討をしています。

**答**  
農林整備課長

造林補助事業は、補助率を95%に引き上げ、造林後の下刈り補助金も85%に引き上げました。また、山地災害の未然防止と森林健全化のための整備として、治山事業などの総合的な防災・減災対策に取り組みます。

## 教科化される英語教育は

～来年度から先行して実施～

**答**  
教育長

本格導入に向け、来年度から3・4年生の外国語活動と、5・6年生の外国語科を先行実施することとしているため、指導内容、指導体制、教職員の研修の在り方等、課題の整理と準備を進めています。

**質**

一コマ分の授業時間数と教職員の負担軽減の考えは。

**答**  
学校教育課長

一コマ増える授業時間は、短時間学習で確保予定で、負担軽減は市教職員働き方改革プラン検討委員会で検討します。

**質**

次期学習指導要領で2020年度から5・6年生に英語を教科化、3・4年生に外国語活動の導入が示されているが、対応策は。



みね じ 英 治

市民クラブ

## ユネスコエコパークの 取り組みについて

～エコパークブランドを生み出す活動と  
広域観光の展開で経済効果を生み出す～



期待しています。加工品で本市の知名度向上とイメージアップを冠した農産品や生産者マークを作成します。このロゴマーク

**答** 商工観光課長

感じることができるように。経済効果を市民が実

**質**

## 指定管理施設の現状と 今後の課題について

～市と指定管理者の連携から制度を推進していく～

**質**

指定管理施設の現状と課題は。

**答** 財政課長

31の施設で指定管理者制度を導入していません。自然災害などで赤字決算となった施設もあります。

**質**

市の代行者である指定管理者と足並みをそろえ、その周辺地域の成長も見据えた取り組みを。

**答** 財政課長

担当課と指定管理者の協議や意見交換の場を設けるなどして、利用者の利便の向上に向けて制度の推進をしていきます。

**答**

建設課長

平成28年度から5カ年で19路線の改良計画です。工事完了が2路線、施工中が7路線、未着工が10路線です。施工中の7路線で平成32年度までに1～2路線の完成と見込んでいます。

**質**

市には35路線の要望もあり、あ少しの工事で完成する路線が10年以上も放置である。これをどのように対応していくのか。

**答** 建設課長

平成24年の中央自動車道のトンネル事故が国の道路整備の転換となりました。新規路線の整備より、今ある道路の長寿命化に移行しています。

**質**

現状の整備状況と今後の見通しは。

## 市道の整備について

～新たな整備より、今ある道路の  
長寿命化に動向している～





衛藤 竜哉

市民クラブ



## 「田舎のビールを」 大きな夢を持って竹田市との連携を図れ

「豊肥地域産品」は今後その可能性を研究し

を目指すよう連携について、市の見解は。

**質**

農業をもっと盛り上げるためにも竹田市との構想を持ってないか。竹田市が今年度から取り組んでいるビールホップの生産、豊後大野市産のビール麦とで「田舎のビール」（仮称）

**答** 農業振興課長

本市のビール麦の契約栽培は、平成29年産は前年より、質・量ともに増加しています。

自分の作った農作物が商品となって売れていくことは、農業への活力や、農業に対する意欲ひいては農業生産体制の向上につながるものと考えます。商品開発は、今後可能性を研究していきたいと考えます。

## 本当に大丈夫なのか、 豊後大野市の災害対応

～これまでの教訓を生かしながら防災対策の強化に努める～

不安に思う。市の取り組みとして各避難所の現状は。

**答** 市長

昨年4月では避難所の耐震性が課題となりました。地域コミュニティセンター構想に基づき、早急に整備していきます。

**質**

市民への告知は大丈夫か。

**答** 市長

防災行政無線やケーブルテレビ放送を活用しています。情報伝達手段の内容を周知して、市民の安全確保に努めます。

**質**

災害物品の管理は。

**答** 市長

自主防災組織の備えも重要で、防災資機材や備蓄品の購入及び防災訓練の実施などの経費に対し支援しています。





たしまえい いち  
**田嶋 栄一**

創生会

## リバーパーク犬飼の 管理運営について

～今後もいっそうの充実に努める～

**質**

新たな観光振興、ビジョンの中で、リバーパーク犬飼の位置付けは、

**答** 市長

大分市に近接していることから、本市における交流拠点施設として、将来的にも大きな期待を寄せているため、豊後大野市観光振興ビジョンにおいても重要な位置付けになります。知事との政策協議で議題として取り上げられ、今後の活用策を検討していくことを確認しました。

**質**

遊具は欠かせない存在。再度設置する考えはないか。

**答**

商工観光課長

現在、県と利活用の向上策を協議しているため、その中で検討していきます。



リバーパーク犬飼

**質**

テニスコートの使用料について、体育施設と同様の金額に条例改正できないか。

**答**

市長

観光施設であるため、改正は厳しい。しかし、長い間の懸案事項、課題ですので、課題の解決に向けて、前向きに取り組んでいきます。

**質**

通信指令システムが機能不全になった場合の対策は、

**答**

消防長

通信指令設備には、主指令台と副指令台のほかに、非常用の設備が設置しているため、完全に機能が停止することはまず考えられません。仮に指令送信が不能になっても、職員が混乱なく対応できるものと考えています。

**質**

犬飼町の消火栓取水口は傾斜している。統一化はできないか。

**答**

消防長

通常と形状が異なり、接続金具を必要とするので手間取ることがあると考えられます。今後、協議・検討していきます。

## 消防・救急体制の充実に ついて

～非常用の設備設置で対応～

## 三重町東部地区の悪臭問題

～あらゆる方策検討し、最善を尽くす～



かわのゆうじ  
**川野 優 治**

緑政会

### 質

今までの経過は。

### 答

環境衛生課長

ふん尿の堆肥化施設  
コンポストからの臭気  
対策として、脱臭装置  
や水洗脱臭装置の設置  
を行い、昨年4月から

ガラス発泡微生物処理  
装置を設置し、堆肥プ  
ラントからの臭気の軽  
減対策を行ってきまし  
た。

また、豚舎内の対策  
として、アンモニア臭  
分解シートやミスト機  
の設置をはじめ、マイ  
エンザ、ゼム酵素、パ  
イナップル菌及びフア  
ーミングパウダーを散  
布するなど、豚舎内の  
臭気の軽減対策に取り  
組んでいます。

しかし、現時点では  
ガラス発泡微生物処理  
装置以外に効果が確認  
できておらず、依然と  
して夕方から深夜、朝  
方を中心に臭気が発生  
しており、局部的に強  
烈な臭気を感じること  
があります。

### 質

今後の対策は。

### 答

環境衛生課長

まず、本年9月1日  
から悪臭防止法に基づ  
く悪臭規制を導入しま  
した。

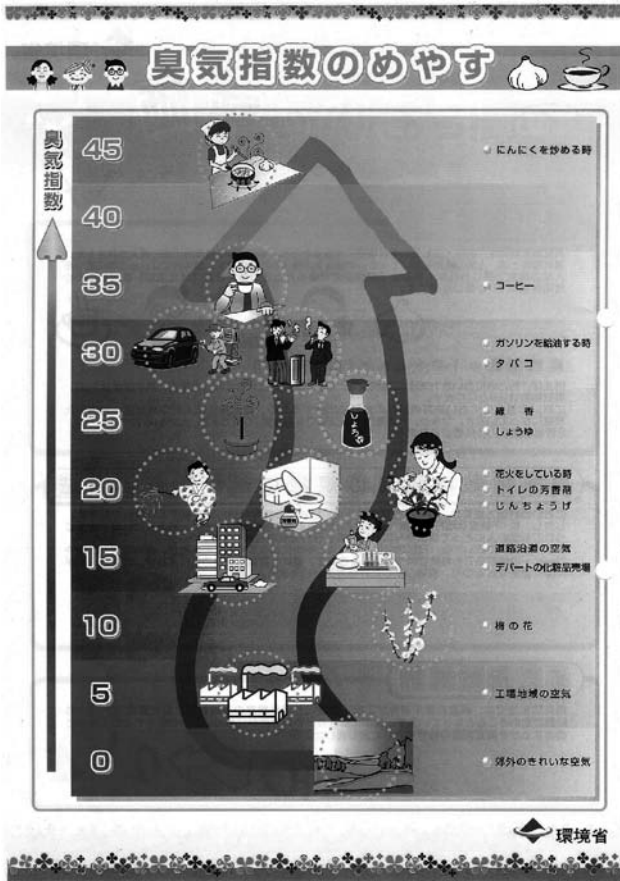
この法律は、規制地  
域内にある工場、事業  
場から発生する悪臭が  
対象となり、事業規模  
の大小や事業の種類を  
問わず、全て規制の対

象となり、その規制基  
準は人間の嗅覚で判定  
する臭気指数を用いて  
行います。

規制範囲を超えます  
と、改善勧告や改善命  
令を出すことができま  
すが、新たに規制地域  
を指定した場合、1年  
間は改善命令を発令す  
ることができません。  
また、全部または部

分移転を視野に、あら  
ゆる方策を検討し、地  
域住民の環境保全のた  
めに最善を尽くします。

その他の質問  
・農業による観光振興  
について





## 総務常任委員会

平成29年8月2日～4日  
岡山県高梁市・兵庫県赤穂市

**高** 梁市では、まちづくり協議会と定住促進を視察しました。

高梁市は、平成27年に市民提案型まちづくり支援事業を創設し、市民活動団体等が自主的・主体的に実施し、公共の利益につながる事業を支援し、「住んでよかった、住み続けたいまち高梁」の実現を目指しています。

定住対策として住宅確保支援や子育て支援を重点的に事業展開するとともに、住宅新築助成事業のほか18事業に取り組み、子育て支援関係施策は子育て世代包括支援センター事業のほか17事業に6億7500万円が予算化され、その成果が出ているとのことでした。

### 赤穂市



文化交流都市圏を目標としています。

**赤** 穂市では、定住自立圏構想を視察しました。

赤穂市では、まず構成する市町村で協議会を設立し、相互に連携協力しながら定住自立圏域の形成を推進し、地域経済を活性化させ、分権型社会にふさわしい安定した社会空間を創出し、圏域からの人口流出を防止し、都市部から圏域への人の流れを創出するという二つの大きな目標に向け、生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力を図るため、事業を実施し、自然と歴史に包まれた笑顔あふれる文化交流都市圏を目標としています。

## 産業建設常任委員会

平成29年8月1日～3日  
福井県大野市・石川県珠洲市

**大** 野市では越前おの型 食・農業・農村ビジョンを視察しました。

このビジョンは、農村全体を越前おののブランドとして確立して、越前おのの型農業を持続的に発展させるため、農村環境や農業に関する数値の目標や農業振興策など、大野市の農業施策の方向性を示す計画として策定しています。

ビジョンの検討や進行管理は、農業関係機関や団体、農業者、学識経験者、流通関係、消費者などで構成する「越前おのの型 農業推進委員会」を組織して、前年度の数値達成状況を点検し、点検を行う予定です。



### 大野市

状況など点検し、点検を行います。

**珠** 洲市では、地域活性化創業支援事業を視察しました。

この事業は、創業等を促進し、地域活性化を図ることを目的に、地場産業や地域を活性化させる効果の高いビジネスモデルの創業や雇用を伴う事業拡大を支援するものです。

珠洲市は個人の利益を追求するような創業に対して助成するのではなく、創業することで交流人口の拡大につながるものや、地元の農林水産物を使った商品開発や地元の農林水産物をブランド化するなど、地域が元気になるような取り組みに限定して、助成しています。

採択された事業では、地元の農林水産物を使った食品加工、地元食材を使用した飲食店開業、高齢者への配食サービスなどがあります。

## 議会活性化委員会

平成29年7月26日～28日  
三重県鳥羽市・滋賀県野洲市

**鳥** 羽市議会の議会改革の取り組みを視察しました。鳥羽市議会では市議会図書室と三重県立図書館及び鳥羽市立図書館との連携を平成25年8月から行っています。また、平成26年5月から通年会期の議会を採用。災害への取り組みとして、鳥羽市議会災害時行動計画を平成26年12月に策定。平成24年にiPadの利用を始め、一部ペーパーレス化等につながっています。

また、地域課題の共有を主な目的とし、TOBAミライトークというものを実施しています。これは依頼があった団体に議員を派遣し、テーマに沿った意見交換をしているそうです。

また、議会モニター制度を積極的に取り組もうとしています。議会報告会の取り組みもさまざまな検討をされており、平成25年5月から議会出前懇談会を開始しています。その内容は、申し込みがあった団体と、市政の重要な課題をテーマに設定した意見交換会を行っています。



### 野洲市

また、議会モニター制度を積極的に取り組もうとしています。議会報告会の取り組みもさまざまな検討をされており、平成25年5月から議会出前懇談会を開始しています。その内容は、申し込みがあった団体と、市政の重要な課題をテーマに設定した意見交換会を行っています。

## 議員の権限

## 議員発議

## 「全国森林環境税」の 創設に関する意見書



我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山林対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

このような中、政府・与党は『平成29年度税制改正大綱』において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって、国会及び政府に制度創設について実現を強く求めるよう意見書を提出するものです。



公共交通を視察（佐賀県議会）



あいのりタクシーを視察（中津市議会）



空き家等対策を視察（吉野川市議会）

## 視察を受け入れました

新電力の取り組みを視察  
（肝付町議会）ケーブルテレビ等を視察  
（宮津市議会）

7月から8月にかけて、徳島県吉野川市議会、鹿児島県肝付町議会、佐賀県議会、京都府宮津市議会、大分県中津市議会、計40名の方々が来庁され、豊後大野市の各種取り組みを視察されました。

# 第6回 議会報告会！！

## 意見交換テーマ

- 「地域コミュニティ支援事業」 総務常任委員会
- 「外国語指導助手事業」 厚生文教常任委員会
- 「担い手育成・確保事業」 産業建設常任委員会
- 「市政全般」



議会の活動状況を知っていただくとともに、市民皆さまのご意見をお聴きするために、議会報告会を開催します。第1部の議会報告に加え、第2部で上記のテーマについて意見交換をいたします。市民皆さまのご意見をお聞かせください。

日 時	開始時刻	場 所
11月1日(水)	午後6時30分	緒方公民館 ホール
1日(水)	午後6時30分	千歳支所 1階 コミュニティスペース
2日(木)	午後6時30分	神楽会館 会議室(清川)
2日(木)	午後6時30分	隣保館 小集会室(大野)
6日(月)	午後6時30分	犬飼集会所
6日(月)	午後6時30分	市役所5階 委員会室(三重)
7日(火)	午後6時30分	三重東小学校2階 はいだてホール
7日(火)	午後6時30分	朝地公民館 ホール

- ・第1部 議会報告
- ・第2部 意見交換

ご都合の良い会場で、どなたでも、ご来場できます。

問合先 豊後大野市議会事務局 (☎ 0974-22-1001 内線 2503)  
市内無料電話 (☎ 9-22-1001 内線 2503)

## 議会日誌

### 7月

- 5日(水) 議会活性化委員会
- 6日(木) 議会広報編集特別委員会
- 10日(月) 議会広報編集特別委員会
- 12日(水) 徳島県吉野川市議会行政視察来市  
鹿児島県肝付町議会行政視察来市
- 14日(金) 議会広報編集特別委員会
- 19日(水) 佐賀県議会行政視察来市
- 24日(月) 議会運営委員会  
京都府宮津市議会行政視察来市
- 26日(水) 議会活性化委員会行政視察  
(三重県鳥羽市)
- 27日(木) 議会活性化委員会行政視察  
(滋賀県野洲市)

### 8月

- 1日(火) 産業建設常任委員会行政視察  
(福井県大野市)
- 2日(水) 産業建設常任委員会行政視察  
(石川県珠洲市)  
総務常任委員会行政視察  
(岡山県高梁市)
- 3日(木) 総務常任委員会行政視察  
(兵庫県赤穂市)
- 23日(水) 大分県中津市議会行政視察来市
- 25日(金) 議会運営委員会
- 29日(火) 議会運営委員会

### 9月

- 1日(金) 本会議(開会)  
議会活性化委員会  
議会広報編集特別委員会
- 6日(水) 本会議(一般質問)
- 7日(木) 本会議(一般質問)
- 8日(金) 本会議(一般質問)・全員協議会
- 13日(水) 本会議(議案質疑)・議会運営委員会
- 14日(木) 常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)
- 15日(金) 常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)
- 19日(火) 常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)
- 21日(木) 決算特別委員会(特別会計)  
議会活性化委員会
- 22日(金) 決算特別委員会(一般会計)
- 28日(木) 本会議(閉会)・議会運営委員会



## 市や議会に対する 市民皆さまの思いを紹介

第56号

平成29年  
11月1日発行

発行：大分県豊後大野市議会  
編集：議会広報編集特別委員会

〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地  
TEL 0974-22-1001 FAX 0974-22-8101

http://www.bungo-ohno.jp/categories/  
bunjabetsu/gikai\_senkan\_kansa/shigikai/

### たくさんのありがとう

ボランティアに来てくださる皆さん、いつもありがとうございます。ぼくたちの学校では、読み聞かせやトライだけでなく、畑仕事、味噌作り、豆腐作りなど、普段学ぶことのできないことが学べます。

また、多くのボランティアの方々のおかげで安心して登下校ができています。今度行われる通学合宿でもたくさんの方が来てくださいます。同じ地区の方もいらっしゃるので、今から楽しみです。

もう一つのありがとうは、中学生にです。

朝地は、連携型一貫校として小・中の連携が進んでいます。今年は、5月に合同体育祭を行い、中学生のすごさを知ったり、一緒に行動することで絆が深まったりして学校生活が楽しくなりました。他にも、文化祭で素晴らしい劇を見せてもらったり、合同集会でみんなをまとめてくれたりします。

ぼくも、早くそんな中学生になれるよう、これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。



朝地小学校 6年

たけしま  
竹島  
そら  
昊

### 伝統ある太鼓隊



清川中学校 3年

かとう  
加藤  
みなみ  
陽

清川中学校には太鼓隊があります。太鼓隊は入学式や卒業式、地域の祭りなどで演奏します。

私は入学式の時に先輩が叩く太鼓の力強い響きや堂々としている姿に感動し入部しました。太鼓隊の曲には楽譜がありません。そのため、曲を覚えることも、響く音を出すことも大変でした。さまざまな音をつくり出すために、手にまめをたくさん作りながら練習しました。初めて連打ができた時の喜びは今でも忘れることができます。また、仲間と息を合わせることもとても難しいことでした。しかし、息を合わせる事ができた演奏は音の響きが幾重にも重なり素晴らしいものになることも知りました。

太鼓隊の曲には楽譜がありませんが、先輩方が後輩に教え伝えることで今まで守り受け継がれています。私たちが仲間とともに伝統を守り、太鼓隊として活動する残りの期間、自分の技術の向上だけでなく、後輩にしっかり伝えられるよう努力していきたいと思えます。

### 議会を傍聴してみませんか？

次回12月定例会は、12月1日に開会予定です。

手続きは、受付にて住所と名前を書くだけです。 TEL 0974-22-1001  
お気軽に議会事務局にお尋ねください。 市内無料電話 9-22-1001

\*お詫びと訂正

平成29年8月1日発行の議会  
だより「声のかけ橋」第55号、  
24ページで誤りがありましたので、  
訂正してお詫びします。

(誤) 衛藤 亘  
(正) 衛藤 亘

広報編集特別委員会  
委員長 内田 俊和  
副委員長 川野 優治  
委員 小野 泰秀  
委員 田嶋 栄一  
委員 吉藤 里美  
委員 嶺 英治